

## 平成21年9月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年4月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 富士製薬工業株式会社  
 コード番号 4554 URL <http://www.fujiipharma.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

(氏名) 今井 博文  
 (氏名) 上出 豊幸  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3556-3344  
 平成21年6月1日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年9月期第2四半期の業績(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第2四半期	7,581	—	943	—	952	—	547	—
20年9月期第2四半期	6,839	6.7	1,027	△2.5	1,029	△2.7	639	7.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第2四半期	42.51	—
20年9月期第2四半期	49.66	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第2四半期	20,609	15,384	74.6	1,195.40
20年9月期	20,355	14,971	73.6	1,163.31

(参考) 自己資本 21年9月期第2四半期 15,384百万円 20年9月期 14,971百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年9月期	—	11.00	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	12.00	23.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年9月期の業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	13.8	2,300	11.3	2,310	10.7	1,360	8.7	105.67

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月期第2四半期	12,870,000株	20年9月期	12,870,000株
② 期末自己株式数	21年9月期第2四半期	10株	20年9月期	10株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年9月期第2四半期	12,869,990株	20年9月期第2四半期	12,869,990株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国におけるサブプライムローン破綻に端を発した世界的な金融市場の混乱により株式市場は低迷し、為替市場は大幅な変動が起りました。また世界的な需要の減退により企業の輸出は減少し、設備投資が縮小するなど、企業収益は急速に悪化し、雇用・所得環境にも影響を及ぼすなど、景気後退の様相が一段と顕著になりました。

医療用医薬品業界におきましては、医療保険財政の窮迫が進む中で、ジェネリック医薬品使用促進の環境がより一層進みつつあります。

このような状況のもと、当社は、重点領域である産婦人科領域において、新薬「ルナベル配合錠」（子宮内膜症に伴う月経困難症治療薬）の販売に注力するとともに、不妊症治療薬等の主力製品のシェア拡大を図りました。また、更に拡大が見込まれるDPC（入院医療包括評価）対象病院に向けては、基幹病院担当チームを中心として、新規開拓・取引拡大のための営業活動を積極的に展開して参りました。一方、新薬販売に伴う経費及び人件費、研究開発費用が増加致しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,581百万円（前年同期比10.8%増）となりましたが、営業利益は943百万円（同8.2%減）、経常利益は952百万円（同7.5%減）、四半期純利益は547百万円（同14.4%減）となり、増収減益となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### （資産・負債及び純資産の部）

当第2四半期末における総資産額は20,609百万円となり、前事業年度末に比べ254百万円増加、純資産は15,384百万円と前事業年度末に比べ413百万円増加となり、自己資本比率は74.6%となりました。

資産の部においては、流動資産については、たな卸資産、現金及び預金が増加した一方、売上債権が減少したこと等により18百万円の増加、固定資産については、有形固定資産の取得等により235百万円増加しております。

負債の部においては、流動負債については、仕入債務が増加したものの、賞与引当金の減少等により179百万円減少し、固定負債については、退職給付引当金の増加等により20百万円増加しております。

純資産の部においては、利益剰余金について配当金の支払いがあったものの四半期純利益の計上等により413百万円増加しております。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ43百万円増加し、3,024百万円となりました。

当第2四半期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期純利益904百万円に、減価償却費444百万円、売上債権の減少額427百万円を加える一方、たな卸資産の増加額386百万円、法人税等の支払額345百万円、賞与引当金の減少額181百万円があったこと等により、営業活動で得られた資金は807百万円となりました。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出496百万円、定期預金の預入による支出100百万円があったこと等により、投資活動により使用した資金は634百万円となりました。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払により、財務活動で使用した資金は128百万円となりました。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間においては、平成21年1月30日公表の第1四半期決算短信において修正した業績予想のうち、売上高は若干の未達（2.3%減）であったものの、利益面においては修正後の計画を上回る結果（営業利益4.8%増、経常利益5.3%増、四半期純利益9.4%増）となりました。下期につきましては、DPC対象病院が更に拡大するなど、引き続きジェネリック医薬品市場拡大の環境が進展することが予想されますが、第2四半期累計期間の実績を考慮し、通期の見通しを下記の通り修正いたします。

なお、平成20年11月10日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

(通 期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,700	2,453	2,458	1,475	114.63
今回発表予想(B)	17,000	2,300	2,310	1,360	105.67
増減額(B-A)	△700	△153	△148	△115	—
増減率(%)	△4.0	△6.2	△6.0	△7.8	—
前期実績	14,937	2,066	2,086	1,251	97.26

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

###### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### ②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

###### ③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

##### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益が47百万円減少し、税引前四半期純利益が82百万円減少しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,418,174	2,275,671
受取手形及び売掛金	5,864,057	6,291,256
有価証券	706,454	705,481
商品	442,800	476,086
製品	1,047,467	834,827
原材料	1,392,246	1,120,594
仕掛品	695,416	760,037
貯蔵品	89,211	88,763
その他	577,000	661,391
貸倒引当金	△1,759	△1,887
流動資産合計	13,231,069	13,212,222
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,634,590	2,619,554
その他（純額）	1,840,844	1,623,004
有形固定資産合計	4,475,435	4,242,558
無形固定資産	1,254,453	1,372,300
投資その他の資産	1,648,900	1,528,033
固定資産合計	7,378,789	7,142,892
資産合計	20,609,859	20,355,114
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,739,061	2,680,819
未払法人税等	319,262	358,299
賞与引当金	389,775	571,135
役員賞与引当金	8,800	15,600
返品調整引当金	12,814	11,913
その他	990,328	1,001,515
流動負債合計	4,460,042	4,639,283
固定負債		
退職給付引当金	483,480	461,802
その他	281,495	282,238
固定負債合計	764,976	744,041
負債合計	5,225,019	5,383,325

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,616,950	1,616,950
資本剰余金	2,841,587	2,841,587
利益剰余金	10,931,071	10,512,692
自己株式	△7	△7
株主資本合計	15,389,601	14,971,222
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,761	567
評価・換算差額等合計	△4,761	567
純資産合計	15,384,840	14,971,789
負債純資産合計	20,609,859	20,355,114

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	7,581,604
売上原価	4,192,737
売上総利益	3,388,866
販売費及び一般管理費	2,445,403
営業利益	943,463
営業外収益	
受取利息	3,038
受取配当金	169
業務受託料	4,487
その他	3,753
営業外収益合計	11,449
営業外費用	
支払利息	312
売上割引	1,236
減価償却費	191
その他	370
営業外費用合計	2,111
経常利益	952,802
特別利益	
前期損益修正益	14,128
その他	128
特別利益合計	14,256
特別損失	
固定資産除却損	1,242
たな卸資産評価損	54,337
その他	6,606
特別損失合計	62,186
税引前四半期純利益	904,871
法人税、住民税及び事業税	306,312
法人税等調整額	51,480
法人税等合計	357,792
四半期純利益	547,078

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間  
 (自 平成20年10月1日  
 至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	904,871
減価償却費	444,806
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21,678
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△128
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△181,360
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,800
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	901
受取利息及び受取配当金	△3,208
固定資産除却損	1,242
売上債権の増減額 (△は増加)	427,198
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△386,833
前渡金の増減額 (△は増加)	△17,965
未収入金の増減額 (△は増加)	37,951
前払費用の増減額 (△は増加)	2,511
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△67,026
仕入債務の増減額 (△は減少)	58,242
未払金の増減額 (△は減少)	25,674
長期未払金の増減額 (△は減少)	△1,629
未払費用の増減額 (△は減少)	△96,118
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,142
その他	△31,302
小計	1,154,848
利息及び配当金の受取額	3,518
法人税等の支払額	△345,045
その他の支出	△6,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	807,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△496,005
無形固定資産の取得による支出	△38,352
その他	△506
投資活動によるキャッシュ・フロー	△634,863
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△128,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,980
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	43,475
現金及び現金同等物の期首残高	2,981,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,024,628



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		6,839,906 100.0
II 売上原価		3,861,049 56.5
売上総利益		2,978,856 43.5
返品調整引当金繰入差額		387 0.0
差引売上総利益		2,978,469 43.5
III 販売費及び一般管理費		1,950,509 28.5
営業利益		1,027,959 15.0
IV 営業外収益		8,730 0.2
V 営業外費用		6,740 0.1
経常利益		1,029,948 15.1
VI 特別利益		161 0.0
VII 特別損失		12,687 0.2
税引前中間純利益		1,017,422 14.9
法人税、住民税及び事業税	273,272	
法人税等調整額	105,087	378,360 5.6
中間純利益		639,062 9.3

## (2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	1,017,422
減価償却費	319,372
退職給付引当金の増加額	25,346
役員退職慰労引当金の減少額	△77,110
貸倒引当金の減少額	△161
賞与引当金の減少額	△180,197
役員賞与引当金の減少額	△10,100
返品調整引当金の増加額	387
受取利息及び受取配当金	△5,146
固定資産除却損	109
売上債権の減少額	536,995
たな卸資産の増加額	△376,233
前渡金の増加額	△6,659
未収入金の増加額	△47,133
長期前払費用の増加額	△85,506
仕入債務の減少額	△153,530
未払金の増加額	42,624
長期未払金の増加額	66,752
未払費用の減少額	△18,927
未払消費税等の減少額	△107,448
受入保証金の減少額	△1,038
その他	△11,082
小計	928,731
利息及び配当金の受取額	5,136
法人税等の支払額	△567,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	366,124

	前中間会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得等による支出	△195,562
無形固定資産の取得等による支出	△265,221
リース物件の取得等による支出	△222,550
リース物件の売却等による収入	162,750
保証金の差入による支出	△50,112
その他	△856
投資活動によるキャッシュ・フロー	△571,552
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△154,442
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,442
IV 現金及び現金同等物の減少額	△359,870
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,643,351
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	3,283,481

## 6. その他の情報

### 生産、受注及び販売の状況

#### (1) 生産実績

	第44期 自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日		第45期 自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
診断用薬	2,589,721	42.0	3,357,562	44.9	29.6
ホルモン剤	1,819,187	29.5	1,967,284	26.3	8.1
循環器官用薬	642,585	10.4	580,405	7.8	△9.7
抗生物質及び化学療法剤	302,952	4.9	431,615	5.8	42.5
泌尿・生殖器官系用薬	163,002	2.6	173,097	2.3	6.2
外用薬	93,534	1.5	108,058	1.4	15.5
その他	561,206	9.1	861,990	11.5	53.6
合 計	6,172,191	100.0	7,480,014	100.0	21.2

(注) 1. 金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

#### (2) 商品仕入実績

	第44期 自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日		第45期 自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
体外診断用医薬品	306,015	80.0	279,508	64.3	△8.7
ホルモン剤	16,847	4.4	64,251	14.8	281.4
外用薬	29,010	7.6	29,329	6.7	1.1
抗生物質及び化学療法剤	3,499	0.9	—	—	—
その他	26,924	7.1	61,691	14.2	129.1
合 計	382,297	100.0	434,781	100.0	13.7

(注) 1. 金額は仕入価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。

#### (3) 受注状況

当社は販売計画に基づく見込生産を行っており、受注生産は行っておりません。

## (4) 販売実績

	第44期 自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日		第45期 自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
(製 品)					
診断用薬	2,515,400	36.8	3,021,209	39.9	20.1
ホルモン剤	1,779,277	26.0	1,812,041	23.9	1.8
循環器官用薬	591,197	8.6	567,537	7.5	△4.0
抗生物質及び化学療法剤	306,184	4.5	290,935	3.8	△5.0
泌尿・生殖器官系用薬	148,126	2.2	174,621	2.3	17.9
外皮用薬	106,706	1.6	89,838	1.2	△15.8
その他	725,366	10.6	723,098	9.5	△0.3
製品合計	6,172,259	90.2	6,679,282	88.1	8.2
(商 品)					
体外診断用医薬品	515,798	7.5	480,151	6.3	△6.9
ホルモン剤	16,989	0.7	274,908	3.6	1,518.1
外皮用薬	49,470	0.2	42,655	0.6	△13.8
抗生物質及び化学療法剤	5,861	0.1	4,676	0.1	△20.2
その他	79,528	1.2	99,930	1.3	25.7
商品合計	667,646	9.8	902,321	11.9	35.1
合 計	6,839,906	100.0	7,581,604	100.0	10.8

- (注) 1. 金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。  
2. 千円未満の端数は切り捨てて表示しております。